大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

六月七日（木）

本紙 一部五錢 一ヶ月一円　定價 郵稅 一ヶ月十五錢　廣告 普通一行 一円三十錢　特別 同 二円五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 谷啓二郎

床廻材 ベニヤ板 樣甲板　吉川商會　新京老松町七 電二九一三番

秩父御名代宮恙なく昨夜御入京

御機嫌御麗はしく 康德帝と初の御握手

全市歡喜感激のルツボと化す 輝やく國都大新京

輝く尊き御使命を帶びさせられ秩父御名代宮殿下には御豫定の如く六日午後六時御着、特別列車で御來京遊ばされた、この日國都新京はその御一歩を印し給ふ新京驛を中心に、奉祝塔、奉迎門はいづれも電光燦然として輝き、御道筋一帶は前日の降雨ですつかり淨められ、全市民たゞ〳〵光榮に浴する歡喜と緊張の裡に、畏れ多くも御五年振りに再び殿下を拜し奉つたのである

これよりさき滿洲帝國最初の國賓として、殿下を迎へ奉る新京驛では鄭國務總理大臣、西尾關東軍參謀長、田代警備司令官、谷大使館參事官、吉澤新京總領事並に滿洲國要人ら、第一プラットホームに、また日本側上長官以上および滿洲國側簡任官以上の諸員は第二プラットホームに、いづれも正裝又は大禮服に威儀を整へやがて午後五時四十五分滿洲國皇帝陛下には張侍從武官長以下扈從員を從へさせられ御正裝にて停車場に

着御 一旦皇族室で御少憩のうへ、第一プラットホームに出御あらせられ、かくて諸員緊張裡に御召列車の御到着を御待ち申上ぐること暫し、五時五十分ごろ約十分間に亘つて驟雨沛然として訪れたが全員肅として聲なく全く水を打つたあとの靜けさである、やがて氣遣はれたる雨も霽れ、定刻軍樂隊から嚠々たる君ケ代の奏樂とともに、寛城子方面から禮砲殷々轟く裡に、御召列車は辷るが如く第一ホームに御停車この時けふの光榮に感激する新京檢査區長桂保雄氏は靜々と御召列車の御扉に近づき御開扉申上げる、陸軍大尉の御正裝を召させ給へる御名代宮殿下には

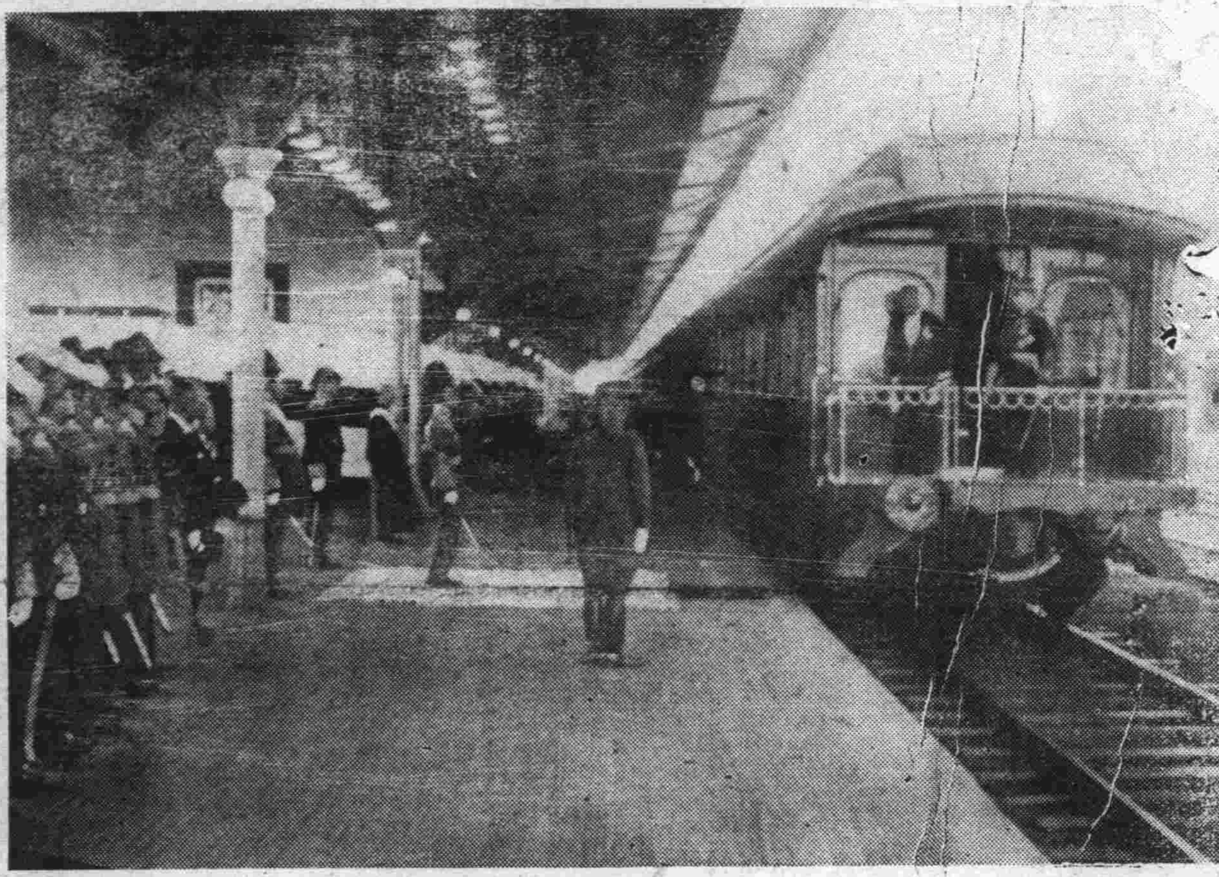
連日 の御旅路に御疲……

……に皇帝陛下には御同列にて翔伎兵並に奉迎諸員の敬禮を受けさせられつゝ、一々擧手の禮を賜ひ、驛構内に玉歩を運ばせ給ひ、林權助男、植田參謀次長、津田海軍少將以下

隨員 菱刈軍司令官、鄭國務總理、以下を隨へさせられて、第一ホームから第二ホームを經てそのまゝ驛構内を御車寄に向はせ給ふ

順路 御旅館へ

殿下を迎へまつる新京驛前廣場には玄關向つて右側には附屬地各機關代表、地方委員、各區長その他名譽職、銀行會社代表、新聞社代表らはいづれもフロック、モーニング又は紋付袴にて何れも威儀を正し、御道筋中央通には東側に日本軍隊、滿洲國軍隊、また西側には婦人會、特殊團体、在鄕軍人分會につゞいて少年團、中學、商業、青年訓練所室町、西廣場、普通學校、公學校の順序でづつと西公園前へかけて午後五時までに整列を終りその間一般は地方事務所前、神社前、西公園前で奉拜の光榮に浴して、いづれも感激と緊張に滿ちみちて奉迎申上げると、新京驛構内から御車寄に成らせ給ふた殿下には、御乘車前再び喇叭君ケ代の吹奏裡に驛前廣場に整列せる桑名大佐の指揮する日本陸軍儀仗兵の敬禮を受けさせられ續いて皇帝陛下の御見送並に諸員の奉送の裡に六時五分隨員扈從員自動車を連ねて供奉申上げ順路中央通から八島通、朝日通を經て六時十四分御旅館に入らせられた、なほ康德皇帝には一旦皇族室に御少憩、無事殿下を御出迎え遊ばされ、誠に御滿足の御模樣にて六時十一分新京驛御發御機嫌御麗しく還幸あらせられた



御寫眞は 新京驛御到着のお召列車、展望台に立たせられる秩父御名代宮殿下、その前方は林首席隨員、左側ホームに御出迎への康德皇帝、その後方鄭總理

昨夜、殿下の御前に ……提燈行列

……し、快く御受け遊ばせ給ふ

……官の御道……給ふ、仰げば殿下には殊のほか御機嫌麗はしく、日滿國交親善最高の御儀禮は御睦じくもまた御朗かに行はせられたのであつたが、その後殿下並……

……官邸前庭に整列、殿下には長の御旅にも何らの御疲れも拜せず、御機嫌うるはしくお出ましになり、總指揮四戸會長の音頭で殿下の萬歲を奉唱申上げたところ畏くも殿下には……

……始御起立いとも御滿足の御……子にて、それを御受け遊ばせ給ひ、かくて一同は靜々退場、朝日通りを左に日本通りに出で南廣場に到着、……時三十分解散した

大使官邸に入らせらる

御内輪にて御晩餐

御名代宮殿下を御迎へする大使館邸は掃除から消毒もすつかり整つた、内庭の芝生の間には赤、青、黄の花配色面白く植えられ新裝全く成つて晴れの日を迎へ宇山書記生指揮の下に萬端の御手配申上げたがやがて午後六時半ラッパの音と共に玉砂利をはむ御召自動車の轍の音内庭の若葉をゆるがせて響き渡り、臙脂の自動車は御着遊ばされ、御名代宮殿下には沈接伴員長の御誘導にて靜かに階段を上らせ、御居間に入らせられ林式部長官以下隨員は控の間に下つた別室にて御待申上げた鄭國務總理菱刈司令官としばし御歡談を交はされた後、新京御着後始めての御晩餐を食堂で極めて御内輪に遊ばされ食後も御内庭の新綠を愛でさせられながら御物語りは盡きなかつた由承はる

歸途 奉天に御立寄

……六日大使館發表】秩父宮殿下には六月十三日奉天御着、……四日御滯在の上十五日同地發、大連御着、同日軍艦にて沿港の御豫定にあらせらる

……明書御發

……滿洲國民に賜つた御聲明書は左の如く

ス、全東洋ノ爲延イテハ世界平和ノ爲慶賀ニ堪ヘス、大滿洲ハ曾テ訪ヒシ地山河草木皆喜色ヲ以テ予ヲ迎フルモノノ如ク幸ニ數年來交誼ヲ得タル貴紳各位ト此ノ地ニ於テ再會シ得ルコト衷心愉悦ノ情多シ、尚予ハ此ノ機會ニ於テ貴國ト……固ク相携ヘテ益……續ケ萬邦同和人……ツテ貢獻センコ……サルモノナリ

謹……

……き御使命を帶びさせられ、昨夕いよいよ首都新京に第一歩を印し給ふ、誠に畏き極みである▼殿下には恰も御五年目の御來京にてこの間滿洲事變につゞく滿洲國が成立を告げ、昔の田舍町長春が一躍國都として再び殿下御成りの光榮に浴したわけである▼殿下此度びの御滯京は爾後十三日まで一週間の御久しきに亘つて、御名代宮殿下としての御使命のほかに、各所に成らせられ、また親しく國都建設の狀況をも御視察遊ばされると承る▼日頃軍務御多忙の御身に拘らずその御傍ら滿洲國情を御研究御渡滿のことが御決定になつてからの殿下の御多忙さはまた一入であつたとは洩れ承るたに恐懼申上げるほかないが▼此度び滿洲の治安全く成り至滿洲空前の歡喜と感激沸き返へる裡に、こゝに吾等が崇め奉る殿下を迎へまつる日の參つたことは、日頃滿洲問題に御造詣深き殿下としても、この上なき御滿足の御事と畏れながら拜察申上げる次第である▼唯だ憾むらくは、國都建設未だ相半ばにあり、まさに準備時代ともいふべく、殿下の御視察にもいろいろ御不自由の伴ふことと、唯だ恐懼するばかりであるが▼吾等はこの上とも一層努力奮闘、以て殿下の御期待にそむかざることを、神かけて誓ひ奉る次第である

新京組合銀行團

（イロハ順）

東洋拓殖株式會社

朝鮮銀行支店

橫濱正金銀行支店

滿洲中央銀行 南廣場支行

滿洲銀行支店

正隆銀行支店

新京銀行

新京驛 區長一同

新京鐵路局

三井物産株式會社 新京出張所

滿洲電信電話株式會社 新京各局所長一同

奉迎 滿名代宮

光榮の在留民

あす商業學校で奉拜を受け給ふ
滿洲國日系官吏にも賜謁
待たるゝその日

市民が赤誠をこめて御待ち上げた秩父御名代宮殿下には遂に六日午後六時わが新京に御着き遊され在京邦人の感激は今や＝絶頂＝に達してゐる、畏くも、殿下には來る八日商業學校の校庭に於て新京在留官民一般の奉拜を受けさせられることと承つてゐる、この日式場たる清掃された校庭に西面して御座所を設けられ、それより約二十メートルを隔てて參列各團体位置につき地方委員、居留民會評議員等公職者百四十八名を始め在鄕軍人會員三百五十名、商業學校生徒五百五十名中學校生徒二百五十名、女學校生徒五百二十名、室町、西廣場兩小學校兒童三千二百二十五名、普通學校兒童四百名滿鐵社員會新京聯合會三百名その他諸團体約六千名に達しその後方に商業學校生徒の組織する「ブラスバンド」が置かれることになつてゐる、殿下にはこの日同校講堂に於て滿洲國日系官吏に對し謁を賜り、其後吉澤總領事の御先導で校庭の式場に成らせらる、殿下御座所に着かせらるゝや商業學校配屬將校山内少佐の＝指揮＝により君ケ代奏樂裡に最敬禮を行ふ、次で「ブラスバンド」の伴奏にて奉迎歌を齊唱した後再び最敬禮を行ひ、右終つて一同奉送裡に殿下には御歸還あらせらる

昭和五年五月秩父宮殿下、翌六年五月には閑院宮殿下を御迎へして、今又 聖上ご名代としての秩父宮殿下を御迎へする私は重なる光榮に喜ひに堪へません、大連に御着きになれば愈々明日は當驛へ御迎へするので私始め驛員一同は歡喜の中にも無事に滯りなく奉迎の出來る樣それればかりに心を勞して居ります

先年の來京の折賜つた酒肴料で謹製した優勝旗を中心に驛員一同スポーツの中に宮樣を御慕ひ申上げて居りましたが、今再び御拜顔の榮を擔ひ得る私共の感激に震へる胸を御想像下さい

御そば近くへ奉迎の
高齡者四十九名

秩父御名代宮殿下御入京第二日七日午後二時から新京神社御成りの際、附屬地居住者日本人七十歳以上の高齡者は境內參道向つて左側に諸列御奉迎の光榮に浴するものは地方事務所地方係で六月一日まで申込みを受付けたが光榮に浴するものは最高年齡者三笠町三丁目五番地靑山クイ(八八)さんを始め男十六名、女三十三名合計四十九名である、なほこれ等奉迎者は七日午後一時三十分までに新京神社境內の指定席につき指示者の指揮を仰ぎ殿下御成りをお待申上げる

明八日の御日程

秩父宮殿下八日の御行事左の御豫定にあらせらる

午前 九時三十五分御旅館御發、滿洲國側觀兵式の爲新京停車場前へ 式後御旅館へ、十一時十五分賜謁及奉拜場新京商業學校へ、後御旅館に於て大使主催皇帝親臨午餐に臨ませらる

午後 御懇談、同三時三十分御旅館御發衛戍病院へ、同四時十分衛戍病院御發御旅館へ 同四時五十分大和ホテルに於ける軍司令官大使主催晩餐へ

各學校の御歡迎放送

秩父宮殿下をお迎へして在京各學校では幼い者の赤誠と奉迎の歡喜を電波に乘せて奉迎放送を行ふこととなつた

七日午後五時から

奉迎子供の時間

西廣場小學校生徒 指揮伴奏 齋藤弘

一、合唱 五年女兒イ奉迎歌 ロ美はしの滿洲
二、獨唱 イ汽車 ロ摘草 (三年生河原地佐登美)
三、獨唱、合唱 イ白いお月樣六年生 ロ蝶々 濱田耐子 ハ雛祭 河崎久子
四、合唱六年女兒 イ犬 ロ木の芽草の芽

七日午後七時から

ピアノとコーラス 高等女學校生徒
一、ピアノ連彈 塚本八重子 出島久枝
二、齊唱 栗原洋子 その他 イ秩父宮殿下奉迎歌 ロ秩父宮さま
三、獨唱 朴錦來 種を播く
四、ピアノ獨彈 懷しき人々 栗原洋子
五、獨唱 塚本八重子 稜頭の春
六、コーラス イうつくしき ロ秩父宮頌歌

九日午後五時から

室町小學校生徒
一、齊唱五年女生徒(二十一名) 奉迎歌
二、齊唱三年生(二十四名) イ春風ほろほろ ロ娘々祭
三、獨唱四年女兒 勝津直子 國旗
四、合唱五、六年女兒(四十名) うれしや國旗
五、劇 五年男兒(十名) 北海の花吹雪

十日午後五時から

公學校生徒 プログラム未定

なほ普通學校、商業學校、中學校生徒の奉迎放送は未定である

喜びを語る人々

殿下の御仁慈には唯々感泣のみ
小宮山新京衛戍病院長謹話

秩父御名代宮殿下には八日新京衛戍病院に御成り遊ばす御豫定と洩れ承るが、新京衛戍病院長小宮山二等軍醫正は謹んで語る

秩父御名代宮殿下は、畏くも傷病兵御慰問の思召しから、八日當衛戍病院に御成り遊ばす御模樣と拜承致しますが、その御仁慈の程には私共一同唯々感泣して居る次第です、殊に御慰問の榮を賜る御國の爲めに傷いた傷病兵百余名の感激の程は如何ばかりでせう

協和會の大提灯 行列に參加

滿洲國協和會では來る十一日滿洲國側提灯行列の晩には高さ六尺、横六尺、幅三尺の大提灯を作り、それに奉迎滿洲國協和會の文字を書き入れ御輿式に四人で擔いで參列すると

重なる光榮に感激
高澤驛長謹話

秩父ご名代宮殿下大連ご上陸の報をもたらして五日新京驛長高澤公太郎氏を訪へば、歡喜の中にも緊張の色を見せて語る

補習學校は臨時休業

秩父宮殿下には在京の一般奉拜を受けさせ給ふため來る八日商業學校に御成り遊ばす筈であるが、この無上の光榮に浴する同校にては、その前日七日に校舍の內外を灑掃し一切の諸準備を終へて、只管殿下の御成りを御待ち申し上げてゐるが、從つて七日夜は補習學校も臨時休業となす由である

慶祝大典運動會分科委員會

六日午後一時半から市公署會議室で慶祝大典新京運動會場內整理警備、記錄、接待の各委員が集合分科委員會を開き種々協議を遂げた

防火と水の節約に注意しませう
地方事務所が大童で宣傳

新京地方事務所ではこの際特に防火および上水節約の趣旨を徹底せしめ、時節柄萬遺憾なきを期してゐるが、殊に上水の節約は今後暑さに向ふとともに最も必要となつて來るわけで、この際全市民お互に注意して出來るだけ上水の濫用を防ぎ、不足のないやう水道係で節約宣傳ビラ多數を印刷して五日から市內各方面に亘つて配布した、現在の附屬地給水狀態は每日六千トン乃至七千トンで、これを附屬地人口に比例して不足はないはずだがたゞ夏季に向ふにつれ料理屋方面その他一般の需要が日一日多きを加へると共にその濫費がまた急角度に多くなる一方であるこの際全市民お互に注意したいものである

總辭職は必至
堀切次官藏相に辭任を勸告
時機は法相の報告後

【東京國通】小山法相は來週早々閣議に報告すべき某事件に就き、某方面にも發展する模樣と言及する模樣で、靜觀中の齋藤、高橋、山本三長老閣僚は進退の時機を考慮して居る丈け、右報告を待ち最後の決意を爲すは當然と觀られ總辭職の時機は法相の報告直後ではないかとの觀測が次第に有力化した

右報告後も高橋藏相が靜觀と稱して逡巡せば司法權の發動を疑惑視すると堀切善兵衛氏の如きは辭職を勸告してゐるので、高橋藏相の辭意表明と內閣崩壞は一層必至とされてゐる

政界頓に緊張
後繼內閣策動熾烈

【東京國通】東鄕元帥の國葬も五日悲しみの中に終了し、政局は頓に緊張を呈するに至り、後繼內閣の策動は一段と猛烈となつて來たが、五日迄の各方面の情報を綜合するに依然として淸浦、宇垣、平沼一木、鈴木、齋藤大命再降下說等あるが、再降下說は首相側近者や現內閣の政策を支持するものに依つてなされ、高橋藏相のところには激勵の手紙が可成りに多く舞込んで來てゐる實狀などより宇垣、淸浦、平沼、鈴木何れも一長一短あり、この重大時局を擔任するには何れも不適任であるから財界其他より支持されてゐる現內閣の政策をその儘實行して行くため寧ろ齋藤內閣に大命再降下し、陣容を一新して行く事が最もこの時局に適應するものであると云ふのであるが齋藤內閣が其熟意ありや否やに就ても疑はれて居り今回の如き事件で責任を負つて辭任する場合果して斯る事ありや否やに疑問がある

冷い鐵鎖に泣く 鄧鐵梅

三角地帶を我物顔に横行、英雄視された鄧鐵梅も北平にて逮捕され今は奉天警備司令部の冷い鐵鎖に世をかこちつゝうらぶれた姿をとゞめてゐるが嘗つて彼鄧の惡の跳躍頻りなる時代を知る人は何れも人生の迂余曲折を思ふと同時に惡の榮へぬことを如實に感じるであらう(寫眞は鄧鐵梅)

ソ聯側に捕はれた漁夫を引取る
三日ブラゴエ領事館を通じ

去る五月七日黑龍江に於て漁業中の滿人漁夫三名はソ聯官憲の爲に逮捕され、ブラゴエに＝拘禁＝されてゐたが、六月三日駐ブラゴエ滿洲國領事館を通じて身柄を引取つた、右漁夫は愛琿縣小烏斯力屯居住の滿人で、武通順(三二)張定喜(二八)王學良(二七)の三名で、五月七日黑龍江上に於て漁業中流木を拾はんとして不知不識の中にソ聯江岸に近付いたので、滿洲國江岸に引返さんと懸命に努力したが、折柄風强く流勢の關係上遂にソ聯江岸に漂着せしめられ、八日に至るも姿を見せず、遙かに對岸を望めば右三名の漁船はソ聯江岸に繫留しあるのを認めたので、五月十四日駐黑河滿洲國外交辨事處は同地のソ聯領事館に對し身柄引渡しを＝照會＝しその後數次交涉の結果、六月三日右三名の身柄は駐ブラゴエ滿洲國領事館を通じて引取つたものである

ソ聯大無電臺
通信連絡と宣傳を開始

【ハルビン國通】ソ聯が曩に建設した一大無電臺(名稱ーコム、インターナショナル)は國內通信連絡と一流の宣傳を開始したが、右無電臺は佛獨、英、米諸國及ひウラジボカムチヤツカ方面との連絡成績も極めて良好であるとソ聯側は發表してゐる

天地淸掃の雹雨
雷鳴の歡喜

空前の榮光に輝く國都新京に殿下御着の直前、七分、五時五十三分驟雨降り注ぎ雷鳴を聞く、あまつさへ珍しき今年初の大粒の雹を交へて天も地もこぞつて殿下の御入京に感激の歡聲を擧げる、間もなく御召列車がプラット、フォームに滑り込むや二分の後、御着驛を告げる禮砲響き忽ち霽れて淸澄な空氣が市中をただよひ全てが淸々しい感激の裡に殿下は御恙なく御旅館に入らせられた

客馬車に自動車追突

六日午前十一時三十分ごろ日本橋通市場前で客馬車を廓慶が御し城內から驛に向け通行中後から疾走して來た滿鐵建設事務所自動車新京第二七二號運轉手市川萬一郎が追突し馬の右後足の骨折をした、目下新京署で取調中である

市公署第二次市營住宅
近く入札施行

市公署關係の第二次市營住宅百五十一戶新築工事は過日來同公署に於て設計及ひその他準備を急ぎつゝあつたが愈々近く之が工事指名者決定の入札を行ふ事となつた、尙新築される住宅は日本式並に滿洲式の二種類で之が

入札期日 六月中頃豫定
場所 現在の市營住宅附近
工費 二十七萬圓
總戶數 百五十一戶
滿洲式 七十八戶 乙六十五坪、丙四十坪、丁三十坪
日本式 七十三戶 甲百坪、乙八十坪、丙五十五坪、丁四十坪

樺甸協和會の函館罹災演劇好成績

樺甸縣協和會辦事處では去る五月五、六兩日、當地城內三道街芝居常設舘で函館罹災民救濟義捐金を募集のため演劇興行を催したが、意外な好成績で總額八百九十圓の募集金を得た、殊に一般貧農多數の參加は日滿親善の上から非常に喜ばれてゐる

英雄は死すとも名は死なず
東鄕驛カナダの一寒村に現存
日本基督敎會 吉川牧師談

海の東鄕、世界の東鄕、米壽を最期として神去り逝いたがアドミラル東鄕の名は遠く海越へて＝歐米＝の史上に永遠に記錄せられることとならうが、既にアドミラル東鄕の姓をそつくり亞米利加の鐵道驛名として使用されてゐることが判つた、新京中央通り基督敎會の吉川牧師が千九百二十一年(大正十年)九月初めごろアメリカに勉强のため渡り、バンクーバーからニユーヨークへ通じてゐるパシフイッククレールウエイ(カナダ太平洋鐵道會社)に乘つてニユーヨークに向ふ途中バンクーバーから三日目の午後十一時ごろ吉川氏は＝車窓＝にもたれてウツラウツラしてゐる時車掌が呼ひ起して切付の改札に來た、その際同氏は眠くて眠くて半分眠つて、半分目を覺ましたやうなうちに改札に應じてゐると驛に汽車が停車して驛員が「トウゴウ、トウゴウ」と驛名を呼んだ、不思議に思つた吉川氏はまさか車掌には聽けないと思つて土人の列車ボーターをつかまへて「トウゴー」驛の由來を尋ねたらボーターは、「あなた日本人ではありません？日本人ともあらう者がアドミラルトウゴーを知らぬか」と變な聲で聽きかへし、次のやうな由來を黑人ボーターは話した、

××

東鄕大將は日露戰勝直後アメリカへ行つた、ところでアメリカでの歡迎は大したものでそのアメリカの歡迎がカナダまで及んでその當時太平洋鐵道敷設工事が行はれ、その工事には日本人や支那人の土方多數が働いてゐたが、その中の一日本人の土方がいたづら書にその邊の枕木に東鄕大將と書いた、その書かれた枕木の字に別に誰も文句をいふ人もなければ、消す人もなくそのまゝになつてゐたが、鐵道も開通してその邊に驛が作られた時驛名を何とつけるかゞ問題となつて、それぢや世界の東鄕大將の名がこゝに書いてあるからこれをこのまゝ驛名にしやうと決められて今でも輝く東鄕元帥の名が加奈陀の一寒村の驛名に使用されてゐると

春季第二次賽馬 繰延べ

馬政局では御名代秩父宮殿下の御渡滿を國を擧げて御迎へ申上ぐる爲新京奉天哈爾濱賽馬場の本年春季第二次賽馬の開催期日を次の如く繰延べ實施することとなつた

新京 六月十六、十七日
奉天 六月十五、十六、十七、十八、十九、二十日
哈爾濱 六月十、十七、二十三、二十四、三十日、七月一日

從て現在馬政局に於て發賣中の壽(大)搖彩票の六月十七日の抽籤日を奉天賽馬場の六月二十日哈爾濱賽馬場は六月二十四日に夫々延期され發賣期間も延長されたが最初の抽籤豫定日六月十七日にも奉天哈爾濱に於ては賽馬を擧行するので既に壽(大)搖彩票を購買した人も今後購買せらる人も誤解の無い樣にと馬政局では希望して居る

ポプラの女給 馬車の下敷となる

六日午後二時三十分ごろ城內二馬路九號秀德堂方馬車夫楊富(二七)が二頭馬車乘客東一條通二十六番地カフエーポプラ女給百武千代子(二〇)同梅崎ヨシ子(二五)外二名を乘せ西公園前から新京驛に向け通行中中央通り憲兵隊前に差懸つた際馬が自動車の警笛に驚き狂奔したので、馬車は轉覆し前記乘客二名は馬車の下敷となり顏面、右膝にいづれも全治二週間の擦過傷を負つた、狂馬はなほも驛前に向け狂奔中を折柄秩父御名代宮殿下の御警衛配置中の新京署員三十余名が發見取りしづめた被害者は直に滿鐵病院に收容應急手當をなした

月の湯で 百圓をすらる

新京石碑嶺炭坑附屬地居住笹野新次郎氏は六日午前十一時三十分ごろ三笠町月の湯脫衣場で現金百圓を竊取された

長春浴池で いく代の藝妓 よからぬ行爲

六日午前八時ごろ大和通り長春浴池で三笠町料亭いく代抱へ藝妓某と內地人靑年某が浴場內でよからぬ行爲をなしてゐるを臨檢の新京署員に檢擧された

最終リーグ戰 明治、立教を破る

【東京國通】春のリーグ戰最後の試合である立教對明治の試合は五對一で明治が勝つたスコアーは左の通り

明治	0	0	0	0	0	1	0	0	4	—5
立教	0	0	0	1	0	0	0	0	0	—1

寄附

入船町二丁目一番地技國勇夫氏はさきに嚴父逝去につき香典がへしとして新京体育聯盟に金五十圓の寄附方を六日午後地方事務所にいたり同聯盟の幹事野付茂理氏に申出た、野村幹事は氏の好意を謝し受納した

拾ひもの

▲吉野町二丁目二十六番地中村三造氏は五日午後九時ごろ祝町消防隊前で皮製財布一個在中三圓卅錢を拾つた
▲城內西二道街客馬車夫李玉明氏は五日午後五時ごろ新京郵便局前で下車した客が車上にズック製水袋一個を置き忘れてゐるを發見した

居住消息

▲岩間亮氏(東京府)朝日通り四十九番地へ
▲丸子竹次氏(北海道)室町四丁目十二番地木村方へ
▲一ノ瀨今朝晴氏(長野縣)室町四丁目十二番地日滿公司內へ
▲鬼塚虎太氏(福岡縣)永樂町三丁目二十七番地ノ四へ
▲松尾次六氏(廣島縣)中央通り四十一番地榊谷組へ

轉居

▲石川英一氏住吉町二丁目から羽衣町一丁目二番地村上方へ

▲森愛之助氏(永樂町二丁目四番地)女尉子さん五日午後四時死亡

國際運輸株式會社新京支店
支店長 宮原芳茂

新京金融組合
新京日本橋通 電話二一二七番

福信金融株式會社
新京東二條通 電話二五八七番

新京輸入組合

社團法人 滿洲土木建築業協會 新京分會
新京八島通三四

搖籃を語る（四）

わが第二國民のエルム巡り
室町小學校の巻

その修學兒童の多きこと諸設備の完備せる點で全滿一を誇るわが室町小學校は

この五月、創立二十六周年を迎つていよいよ理想的第二國民訓育所として完成の域に達せんとしてゐる、けだし、同校の今日あるは幾多尊い兒童教育者の熱誠と努力の結晶にほかならない。遠い沿革を探ねて同校を訪へば「創立當時の追憶」として次のやうな興味深い歴史を語つてくれた

◇……◇

日露の戰雲もおさまり、日本が當時の東清鐵道の經營を讓り受けて滿鐵會社を創設し鐵道附屬地の買收を行ひ新京驛（當時長春驛）で貨物取扱を開始したのが今から卅一年前の明治四十年十一月三日のことで、翌月一日から旅客扱もやることゝなつた、驛舍は今日の位置より東部に建てられたが、全く荒涼たる畑中の一軒屋であつて、當時の面影は今の何處にも殘つてゐない、當時の連絡驛（滿鐵終點）であつた西寛城子驛（今の〇〇飛行場）から日支人が轉住して來て、日本人の多くは今の日出町一、二、三丁目と富士町一、二丁目に居を構へて所謂第一線の礎をすえたのである、ところでどんな商賣を始めたかといふと、第一は運送屋で、家を驛近くに構へたのも其の爲で、次は宿屋が多かつた、滿鐵社宅としては今の和泉町、露月町の一丁目あたりにぼつぼつあつただけで、其の外頭道溝（西公園から流れ出てゐる川）の流れに沿ふて在來の土民の家を修築して來住するもの、城内、北門外等に入り込む者もあつたが、當時の人口はやつと三百名位に過ぎなかつた

ところが、こゝに最も必要に迫まられたのは子弟の教育で早速學校開設の聲が上つた、翌四十一年五月一日付社告で愈々長春に尋常小學校として設置され、敷地も現在の位置に選定されたのであるが、校舍がすぐ間に合はぬ、そこで一時の間に合はせに、驛の北側、畑中（今の住吉町一丁目）の支那人の家屋を改造して假校舍に充て、五月七日、始めて兒童を收容した、校舍建坪八十坪、内教室二、校庭八十二坪、兒童數男八名、女十五名、計廿三名で、校長に小島茂次郎氏就任し、教員小島マス氏の二先生によつて授業を開始五月十四日勅語謄本が下賜され、五月十七日には日出度開校式が擧行されて茲に愈々小學校として呱々の聲を擧げたわけである、この學校開設に種々斡旋盡力された人は元の滿鐵理事、當時の長春經理係主任の田邊敏行氏である

開校當初は各所に點在してゐる家から通學するのに、道といふ道はないと云つた有樣で殊に雨降りの時等は二日も三日も休業しなければならなかつたといふ、今日からはとても思ひも及ばぬ苦心をなめたものであつた

しかしその年の十二月五日に現在の位置に新築校舍が竣工して移轉し、其の困難は多少緩和されたが、草創當時に於ける我等の先輩の苦心には衷心から敬意を表さなくてはならない

元來長春驛は滿鐵の最北端、後に吉長線が開通してからは南滿、東支（今の北鐵）吉長三鐵道の會合點として、國際的に緊密な折衝地點として、殊に特産物の集散地、豆の都として異狀の發展を遂げ、人々の増加に比例して兒童數もふえ、前後十回に余る校舍の増改築を行ひ一校で間に今はないで、大正十三年には西廣場小學校の増設となり、殊に滿洲事變を一大楔機として、國都新京となつてからは超急激の兒童増加を成し創立當初二十三名の兒童數、職員二名が廿六年目の今日當室町小學校だけでも三十五學級千八百五十余名の兒童と四十二名の職員を持つ滿洲一の大きな學校となつたのである

◇……◇

なほ上原校長は滿洲兒童の教育について次のやうに語つた

滿洲の兒童は明朗快活で伸び伸びしてゐるが、一方氣力を缺き、敬虔の念がうすく身体が弱いのが缺點である、それで教育方針としては精神教育に勞作教育を取り入れ運動を奬勵して、敬虔、敬神の念を涵養、國家心の養成に力め、心身共に立派な日本國民を作り上るやうに努力してゐる、そのため毎朝、朝禮、ラヂオ体操を行ひ、月曜には遙拜式國旗掲揚式を實施してゐる他衛生方面にも留意して太陽燈を設けたり、肝油を飲用させてゐる、それに現在では父兄との連絡も理想的に近い程圓滑になつてゐて夜更し演藝等を一切禁じてゐます

校長上原種豐氏は大正十二年就任以來自己の全てをなげうつて兒童教育に專念され、最も良き日本國民の養成に獻身的努力を拂はれてゐる教育者で各方面から稱讃されてゐる方である（寫眞は上原校長）

臼井秉次氏
康德皇帝に書を獻上
獻身的力作「蘭花瑞香滿天地」

大滿洲帝國康德皇帝登極慶祝御名代として御差遣の秩父宮殿下が新京に御到着と日を同じうして圖らずも在京大日本帝國全臣民の名譽ともいふべき吉報を手にすることが出來た、

原籍岐阜縣美濃國谷合村、現住所新京三笠町一丁目十二番地臼井寫眞館々主臼井秉次氏は寫眞術においては既にその手腕は周知のところであるが同氏が書道界でも押しも押されもせぬ大家であることは世

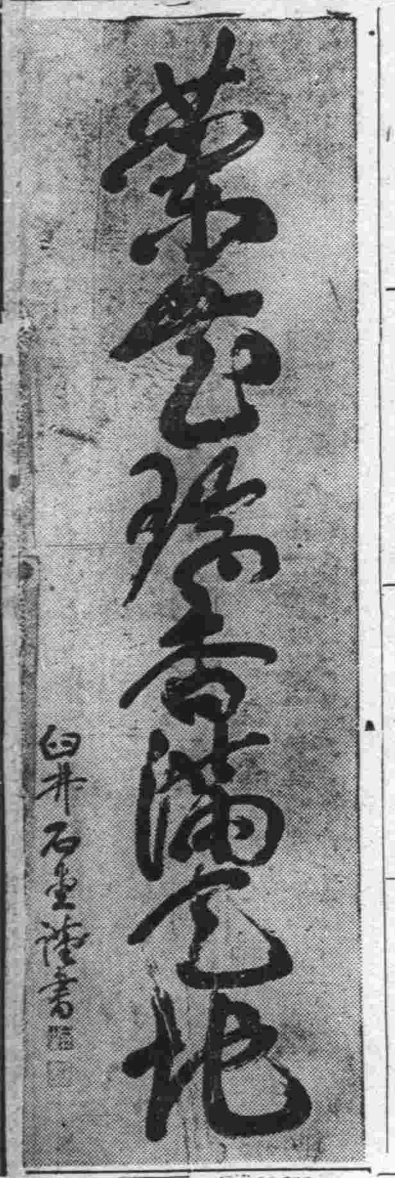
人は一人として知らなかつた昨年本紙の報道した如く滿洲國建國一周年記念日に際して時の溥執政閣下に「王道樂土」の四字を謹書扁額にして獻上したが、氏は再び大滿洲帝國初代皇帝康德皇帝に先月十五日「蘭花瑞香滿天地」の名句七文字獻身力作の大幅（二尺に六尺）を外交部大臣を經て獻上の手續をとつたが、宮廷府の大家連が審査の結果、希に見る傑作であることが認められて皇帝陛下も御嘉納になり先月二十七日附で宮内府大臣の名で禮狀まで臼井氏に屆けられた、三笠町に氏を訪ひ來意を告げれば氏は欣喜雀躍しばしたつて襟を正して大要次の如く述べた

× ×

私は投阜縣美濃國谷合村に生れまして幼少十二歳迄生村に祖父母の許に於て訓育を稟けたのであります、祖父臼井胤親翁は臼井家の本家を繼承しまして明治維新まで庄家の職を奉じて居りました、元來祖父は漢學需者肌の老人でありましたので從つて私も其膝下に於て所謂古風的なる家庭教育を受けました殊に精神教育に於て我が國體の精華である敬神崇祖の大觀念の貫徹を目標とせられました、更に祖父致は古風の書道でありまして其筆氣品に富んで居りました、私は其の祖父から六歳位の時より漢字の習字をせしめられました元來私も書道は好きでありましたが未だに其の域に達しませんのは遺憾の次第で御座います、生來平凡非才學歴なき私は折角幼少時祖父から受けました薫陶に添ふ事も叶はず只赤心報國の信念を懷きつゝ未だ皇恩の無窮に酬ひ奉る事をも仕遂げ得ず茲に凡々の一私人として空しく徒食しつゝある事を祖先殊に祖父母の靈に對し衷心恥じ入る次第であります、扨て祖父生前私に其方は中老以上の年齡に達したる時書に依つて認めらるゝ時が來るから努力せよと申されましたことが今猶ほ耳朶を離れないのであります此の祖父の言辭を尊重致しまして、齢中老を越えましたる私は自己の凡才拙筆を省みるを忘れまして實は昨年三月滿洲國建國一周年に當りまして祖父の靈の加護に依つて筆力達成を祈願し齋戒の上恭しく「王道樂土」の四字を謹書扁額に表裝しまして溥執政閣下に獻上致しました處執政に於かせられましては謝意を表せられました旨の懇なる御禮狀を執政府より拜受致しました、今般滿洲國に帝政宣布せられまして康德皇帝の登極の慶典に當り更に僭越乍ら奉祝の盛意を表したる書幅を謹書獻上し奉らんと適切なる字句の案出を日夜神願致して居りました處日の拂曉夢の如く憶に亡き祖父の靈指の如き感應に依つて「蘭花の瑞香天地に滿つ」と腦底に躍如しましたので早朝齋戒沐浴恭しく神々と祖先の靈に禮拜して畢生の心血を傾注して筆致の完達を神禱致しまして絛幅料紙に「蘭花瑞香滿天地」と獻身的努力の謹書を仕りました處果然祖父の筆[illegible]なる出來榮えでありまして私と致しましては感極りなき力作を得ましたので入念なる表裝を依囑しまして完成茲に康德皇帝陛下に獻上の手續を願ひ出でましたる處滯りなく通達せられまして獻上の手續を了したのであります

× ×

只々祖先の遺德を繼承致しまして新京在住大日本帝國一臣民として臼井秉次の名に依つて謹書獻上仕りました書幅が茲に大滿洲帝國康德皇帝陛下の御嘉納を忝う致しまして天覽の光榮を賜りたるのみならず、宮内府大臣沈瑞麟卿の名に依つて御嘉納の御趣き極めて御鄭重なる御禮翰を拜受仕りまして感激致して居ります次第で御座ゐます、今度此の書幅獻上達成の事は實に私の微力の能く成し得たる事では無く神威の御加護と臼井家代々祖先の懿德の賜なりと感涙に咽ぶ次第でありまして嘸かし亡き祖父の靈は欣喜して居らるゝ事と私には言ひ知れぬ感應がありますのでご座ゐます何れ歸省の時祖先の墓前に此の光榮を申告仕りまして臼井家一門と共に喜びを共に致したいと存じて居ります次第であります、私は此の度の光榮を契機と致しまして此の書風を益々練磨致しまして書道に邁進の決心でご座います、終りに今回獻上の書幅軸物表裝に當りまして當地大室文仙堂主に依頼致しましたる處同氏も亦業務上絶大なる榮譽として技術上至難事の短時日に完璧の見事なる表裝に精進謹作せられたることを茲に大室氏に對し滿腔の感謝の意を表するものであります（寫眞は臼井氏獻上の書）



海の外から

九ケ年間で大望遠鏡を完成

英國マンチエスター驛に勤務する鐵道從業員アルバート君は忙しい勤務の余暇をぬすんで九ケ年間の歳月を要しコツコツと造り上げた大望遠鏡なんと十二吋反射鏡を有する天晴れの出來榮えであつた

モロッコの山の油井大火事損害

此の程爆發して十日間も燃え續けたモロッコのツエルファト山の油井の大火事の損害は八萬七千磅の油が燒失した旨其の發表をみた、序で今後の災厄に備へる爲め砂や石を火消用として山上に大量運んで置く計畫を樹ててゐる

六大學リーグ戰順位

【東京國通】今春の六大學リーグ戰は明立戰を最後として終了したが順位左の如し

法政	勝四	敗一
早稻田	勝三	敗二
慶應	勝三	敗三
立教	勝二	敗三
明治	勝二	敗三
帝大	勝一	敗四

個人打擊率

一梶原（帝）打數十八、安打十三
二室井（明）打數十二、安打六
三夫馬（早）打數十三、安打六

ラジオ欄

七日（木曜）新京

午前六時〇分 ラヂオ体操（東京ヨリ）
同 八時五分 經濟市况（東京ヨリ）
同十時三〇分 ニュース
同十時四〇分 經濟市况（東京ヨリ）
同十時五九分 時報レコード（滿語）
同十一時三〇分 ニュース（滿語）
同十一時四〇分 ニュース（滿語）
午後〇時〇五分 經濟市况（東京ヨリ）、經濟市况（奉天ヨリ日滿兩語）
同〇時三〇分 レコード（滿語）
同 一時〇分 演藝 西群仙 喜春
同一時三〇分 講座 監察院審計官 實張
日本の現状に就て（二）
同二時五〇分 經濟市况 ニュース（東京ヨリ）
同三時二〇分 ニュース（日滿兩語）
同三時三〇分 經濟市况（奉天ヨリ日滿兩語）
同四時三〇分 ニュース（滿）
同四時四〇分 ニュース（鮮）
同四時五〇分 ニュース（英）
同五時〇分 奉迎子供の時間 新京西廣場小學校生徒
指揮 齋藤弘 伴奏
一、合唱イ奉迎歌 五年女生徒 ロ美はしの滿洲
二、獨唱イ汽車 三年生 河原地佐登美 ロ摘草
三、獨唱、合唱、イ白いお月樣 六年生 ロ蝶々 濱田耐子 ハ雛祭 河崎久子
四合唱イ犬 六年女生徒 ロ木の芽草の芽
同五時三〇分 秩父宮御動靜關係ニュース（日滿兩語）
同五時五五分 氣象豫報番組豫告（滿語）
同 六時〇分 ニュース（東京より）
同六時二〇分 滿語講座 講師 高宮盛逸
同六時四〇分 日語講座 同
同 七時〇分 ピア[illegible]テス 新京高等女學校 金杉[illegible]
一、ピアノ連彈 ヴオルフ作曲 フエスチバル、ポロネーズ 塚本八重子 出島久枝
二齊唱 イ秩父宮殿下奉迎歌 栗原洋子 大勢 ロ秩父宮さま
三、獨唱 種を播く 朴錦來
四、ピアノソロ ミーツアム編曲 懷しき故郷の人々 栗原洋子
五獨唱 渡頭の春 塚本八重子
六コーラス イうつくしき 大勢 ロ秩父宮頌歌
午後七時三〇分 長唄 鶴龜 唄 牡丹 同 京子 三味線 時若 同 金彌 同 榮龍 下方 滿洲香
同 八時〇分 謠曲（觀世流） 竹生島 新京觀世會會員
同八時三〇分 時報ニュース（東京ヨリ）
同八時四五分 ニュース
同 九時〇分 氣象豫報番組豫告 演藝（滿語） 双官誥 双玉班 愛秋 珠簾寨 艶春院 月紅 引續ニュース（滿語）以上

日本の聖女（上映）
生田葵　南部[illegible]平畫

二三 非人の取調（三）

『うむ、女行者の住居を話したら其方にも錢をやる。ほうら錢三百文』

岸田は、飛驒の兒が、お高の住居を知つて居ると云ふのに勢ひづき、急いで、手文庫から錢を取出し、差上げて、小兒の眼に見せた……。

『こら、何を云ふ、―おめえが知つて居る筈がない。默つてゐろ』

飛驒は役人に打たれ痛みが、なほも止まぬらしく、顔をしかめて居ながら自分の小兒の口をおさへつけやうとした。

『飛驒、其方こそだまつて居ろ。小兒は正直だ、いらぬことを云ふとなほ〳〵お上の御憎しみを増して、罪がふかまる一方ぢやぞ、飛驒の子、女行者の居るところを話せ此の錢をつかはすぞ』

岸田は小兒の口を開けさせやうとして、手にした錢、を振り廻して見せた。

『お役人樣、わし云ふからちやんも私も、此のびつこ松さんも歸やして下さるか、歸やして下さるなら云ふ』

小兒はがつちりとして居た。

『よし、かへやしてやる。それから錢もやる』

岸田は承知してやつた。

飛驒はもう觀念したものか、眼を垂れて居た。

『ぢや言ひます。あの女行者樣は蛇沼の前の觀音に居なさる……』

『蛇沼と言ふのは、其方等の居る鳥邊野の奥にあるあの小さな沼の事ぢやな』

岸田は念を押した。すると小兒はうなづいた。

『觀音と言つて、そんな處に人が住居で、居られる、觀音があるのか』

岸田が更に恩はしく知らうとすると。

小兒はそれには返辭せずに恐れ氣もなく手を差延べ。

『早う錢を下され、約束ちやないか』

『もつと、くわしく云へ、それでないと、やられぬ。その觀音には今誰か住居で居る。あの女行者は牢獄へつれて行かれて死んで了つたんだから、今は外の人が住居るのぢやな』

『うゝん』

と小兒は首をふり。

『外の人もゐるが、あの女行者樣もゐなさる。私は昨日もあつた。あの人は、死んでなんぞゐやしない』

『なにあの女行者は生きてゐる そんな筈はない。牢獄の中で死に鳥邊野の奥の蓮華寺の墓地へうづめられたのぢや、それでは人が違ふのか』

岸田の顔にちよつと失望の色があらはれた。

『役人樣、錢をくれよば、なにもかも話して上げる。あの女行者樣は、牢獄中で死になされたが、あの蓮華寺野へうづめられると、生きかへりなされた。さあ、錢をくだされ』

餘りと小兒が錢に執着してゐるので、手にした錢をたうれと云ひさま、小兒の座してる膝の前へ投げてやつた。

それを拾ひ上た小兒は如何にも滿足さうな顔色をして岸田へと御心のお辭儀をした。

『飛驒の兒、もつと話せ、お要錢が欲しくば、いくらでもやる。女行者がよみがへつたと云ふのは一體どうしたことぢや。』

小兒には、此の間ひの答へはむつかしかつたと見え、返辭しなかつた。

×……×

映畫 長春座

六日七日二日間限り 毎日晝夜公開

限りなき鋪道
松竹蒲田特作映畫、映畫藝術に愈精進の新鋭成瀬已喜男監督作品 新入社スター中田君子 懸賞當選藝名 忍節子 主演
山内光 日守新一 三井秀夫 香取千代子 光川京子 結城一郎 磯野秋雄 阿部正三郎 共演
これは街の若き明眸が人生の限りなき鋪道に拾ふ哀しき愛の物語……

明暦名劍士
松竹下加茂特作 雜誌キング所載
林長二郎 千早晶子 林敏夫 主演
明暦の名劍士と謳はれた影浦林之助が孝子の仇討に助太刀して本懐をとげさす武士道涙の物語り

陽氣なお孃さん
松竹蒲田オールサウンド版
伊達里子 岡讓二 城多二郎 主演
松竹今週の名畫陣どうぞお見逃しなく

新京出張所新設
新京老松町二丁目天野商店内
電話二九二五・二九六七
精々御利用御援助の程奉懇願候
日本ペイント
大連・奉天・新京

店員募集
自轉車業店員五名
經驗を有し（年齡二十歳以上）市内に確實なる保證人を要す希望者は本人來談あれ
新京ダイヤ街
森自轉車商會

家具と建具
家具 建具 室内裝飾 陳列設備 設計製作
幸昇號工作所
新京祝町五丁目十四 ミス新京カフェー東入 電話二一六一番
外交販賣員一名入用（市内要保證人）

堀出品賣物
▲レール 十二ポンド用一哩分（新品同樣）
▲トロック 十台 箱付
右至急讓ル希望者ハ左記へ
新京ダイヤ街梅ケ枝町二
金物商
土建金物商會新京支店
電話四九五六番

酒は白鶴
料理は活洲
●鷄の水たき
●川魚料理
●うなぎ蒲燒
御家族御同伴おこし下さい……御待して居ます!!
多少に不拘出前迅速
食道樂 活洲
吉野町二丁目 電話三一五六番

新京興信公所
取引先信用調査 縁談先身元調査 各種企業調査 人事秘密探偵 經濟事情内報 貸借整理代行

錢入類 紙幣入 シース 手提袋 キセル 煙草入 筒金具 一式
袋物問屋 目録進呈
大阪市南久寶寺町一丁目心齋橋西入
矢澤商店

位牌 佛具 現金卸問屋
大阪市東區備後町三丁目
今邑佛具店

營業品目
石油乳劑 デシンフエクトール クレゾール石鹸液 クレオリン 硫化カリウム 一般化學工業藥品
藥種製造卸商
小林商店
大阪市北區松ケ枝町一番地

會旗 校旗 優勝旗
製造卸問屋
上田旗店
大阪市東區本町五丁目

強力殺虫劑

亞蘇殺虫藥水

蠅・蚊・蚤・油虫・南京虫
その他毒虫類忽ち全滅

アース

日・英・佛・伊
専賣特許

人類無害　殺虫完全
芳香馥郁　汚損絶無
火氣安全　用法至便

全國藥店・百貨店藥品部にあり

總代理店　東京 大阪 玉置合名會社
海外代理店　三井物産株式會社
アースタム製造元　株式會社木村製藥所